

大草谷津田いきものの里 自然観察会

ウグイスのさえずりを聴こう

木下順次(千葉市)

日時：2010年2月21日(日) 10時30分～12時 天候：晴れ

参加者：大人8名 子ども2名 指導員2名

担当指導員：和仁道大・木下順次

入り口での最初の導入で、野鳥の鳴き声には、地鳴きとさえずりという2種類があることを皆さんに説明しました。野鳥を鳴き声だけで識別するのは大変難しいですが、昔から「聞きなし」という方法で鳴き声を覚えてきたことを説明。

昨年は2月の中旬ごろからウグイスがさえずり始めたそうですが、今年は少し遅れているのか、地鳴き(笹鳴き)の声はするものの、「ホー、ホケキョ」は残念ながら耳にすることができませんでした。稲毛から来られた方からは、もう既にさえずり始めているとお聞きしたので、なおさら残念です。

しかし、多少寒かったものの天気も良く、谷津では風の影響もなかったせいか、たくさんの野鳥観察をすることができました。特に、今回の観察会では♀のジョウビタキが道のすぐわきの雑木林にひょっこり姿を現し、しかも大勢の観察者が見つめる中、警戒の様子もなく(そう見ただけで本当は警戒していたのでしょうか・・・)、いつまでもすぐ脇の落葉樹の枝から枝へと飛びまわっていました。初めてジョウビタキを見る方も多く、♀のかわいい目や羽根の白い紋付が特徴であることを確認していただきました。

また、アカガエルの卵塊がたくさん見られ、早いものだと既にオタマジャクシになっていました(自噴井の近く)。これは水の温度が安定しており、また暖かいために、早く孵ったのかも知れません。前回参加してアカガエルの卵塊を観察した方には、時期を変えて継続して参加することの楽しさを感じていただけたようです。

下ン畑に上って、ウサギの糞を探したりと、野鳥観察以外にも様々な生きものの生活する姿を知っていただくことができたと思います。

《参加者の声》

- ①思ったより多くの鳥が見られた。
- ②ウグイスのさえずりが聴けなくて、残念だった。
- ③ジョウビタキがよく見られて可愛かった。等々



《見たり聞いたりできた野鳥たち》

コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、カシラダカ、アオジ、シメ、スズメ、ムクドリ、カケス、カワラヒワ、ハシボソガラス、ハシブトガラス